

モニタリングサイト 1000 サンゴ礁調査 調査サイト位置図

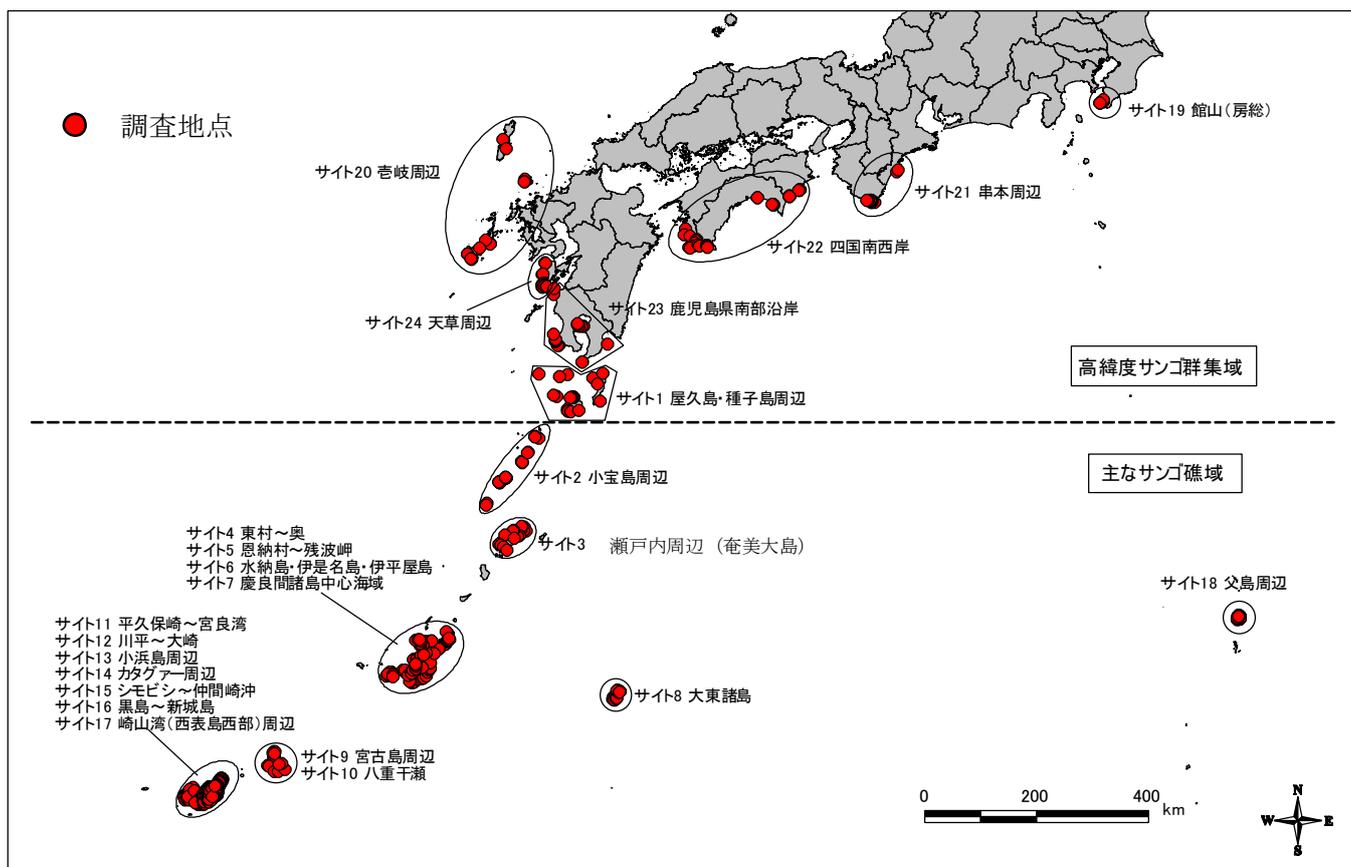


図 モニタリングサイト 1000 サンゴ礁調査 調査サイト位置図

モニタリングサイト 1000 サンゴ礁調査における
平成 29 年度調査結果等（速報値）

1. 各サイトの調査結果一覧表及びグラフ

表1 各サイトの平均サンゴ被度、白化率及び死亡率

モニタリングサイト			調査期間 ※1	平均サンゴ被度 (%) ※2※5		平均サンゴ白化率 (%) ※3※5		平均サンゴ死亡率 (%) ※4※5	
No.	中ブロック	サイト	平成29年度	平成28年度	平成29年度	平成28年度	平成29年度	平成28年度	平成29年度
1	大隈諸島	屋久島・種子島周辺	平成29年10～12月	38.3	33.9	8.5	1.8	2.1	0.0
2	トカラ列島	小宝島周辺	未実施	-	-	-	-	-	-
3	奄美群島	瀬戸内周辺 (奄美大島)	平成29年8～12月	34.5	35.5	21.0	31.5	0.7	0.7
4	沖縄島	東村～奥 (東岸)	平成29年9～12月	25.2	28.2	16.4	29.3	8.6	5.4
5		恩納村～残波岬 (西岸)	平成29年9～11月	29.1	36.2	13.1	31.3	4.3	5.2
6	沖縄島 周辺離島	水納島・伊是名島 ・伊平屋島	平成29年11月	58.0	54.3	48.4	4.2	13.5	1.8
7	慶良間諸島	慶良間諸島 中心海域	平成29年11月	15.8	22.5	7.3	0.0	5.4	0.0
8	大東諸島	大東諸島	未実施	17.7	-	0.0	-	0.0	-
9	宮古島 周辺	宮古島周辺	平成29年12月	18.0	17.0	68.8	0.5	31.0	0.5
10	宮古島 離礁	八重干瀬	平成29年12月	8.8	6.3	70.1	0.0	67.5	0.0
11	石垣島	平久保崎～宮良湾 (東岸)	平成29年9月、12月	27.5	19.6	47.9	0.3	8.8	0.3
12		川平～大崎 (西岸)	平成29年11～12月	13.9	12.1	63.2	0.4	14.8	0.4
13	石西礁湖	小浜島周辺 (北部)	平成29年10月	23.0	20.1	91.5	85.0	46.9	6.7
14		カタグラー周辺 (東部)	平成29年10月	9.3	5.2	99.5	94.6	67.9	11.3
15		シモビシ～仲間崎沖 (中央部)	平成29年10月	18.8	17.2	94.9	92.0	49.7	8.5
16		黒島～新城島 (南部)	平成29年10月	17.9	13.2	98.2	94.1	50.0	10.2
17	西表島と 周辺離島	崎山湾 (西表島西部) 周辺	平成29年10月	32.4	27.3	94.3	84.7	34.8	6.7
18	小笠原諸島	父島周辺	平成29年10月	41.7	45.0	2.9	1.3	1.9	0.2
19	房総・伊豆 ・伊豆諸島	館山 (房総)	平成29年9月、11月	2.9	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0
20	日本海	老岐周辺	平成29年10月	37.3	32.0	2.1	0.4	1.1	0.3
21	紀伊半島	串本周辺	平成29年6月、9～12月	33.1	27.7	0.8	13.3	0.1	0.5
22	四国	四国南西岸 (宇和海～足摺岬)	平成29年9～11月	30.9	25.4	3.0	7.1	0.5	1.3
23	九州南東部	鹿児島県 南部沿岸	平成29年12月	18.4	16.4	20.7	0.0	0.0	0.0
24	九州西部	天草周辺	平成29年9月	27.6	31.1	0.2	0.5	0.0	0.0

※1 調査期間は各サイトによって異なる。

※2 サンゴ被度：調査地の海底に占める生きたサンゴ面積の割合。

※3 サンゴ白化率：少しでも白化現象が見られる群体を対象とし、白化前まで生きていたと思われるサンゴ全体（白化により死亡したサンゴ、白化したサンゴ、生きているサンゴの合計値）に占める、白化したサンゴ及び白化により死亡したサンゴの割合。

※4 サンゴ死亡率：白化前まで生きていたと思われるサンゴ全体（白化により死亡したサンゴ、白化したサンゴ、生きているサンゴの合計値）に占める、白化により死亡したサンゴの割合。

※5 平均サンゴ被度、平均白化率、平均死亡率の値は、いずれも各サイト内に設けられた複数の調査地点の平均値（小数点第2位以下は四捨五入）となる。

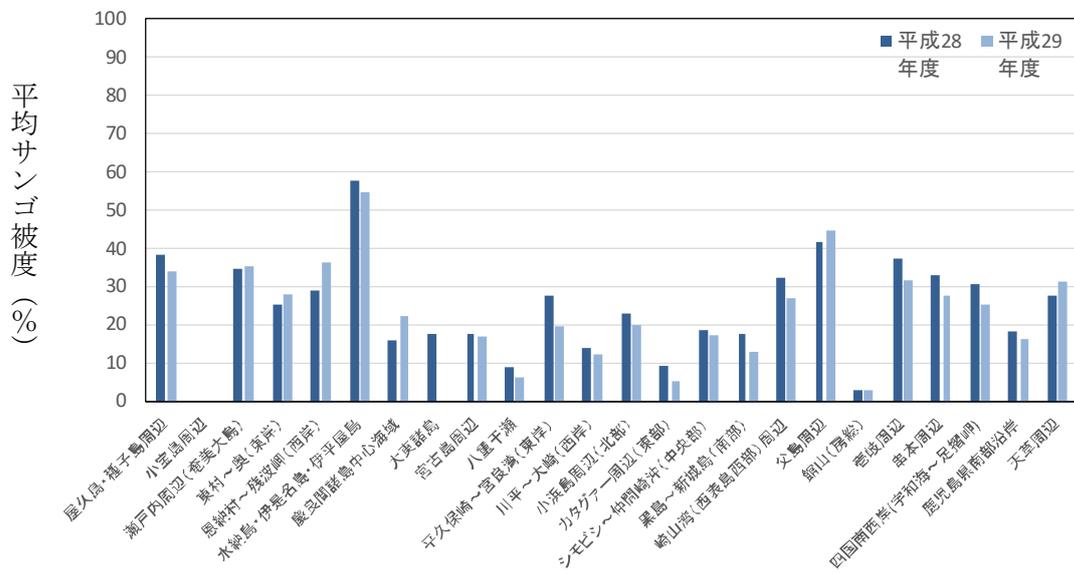


図 1-1 各サイトにおける平均サンゴ被度

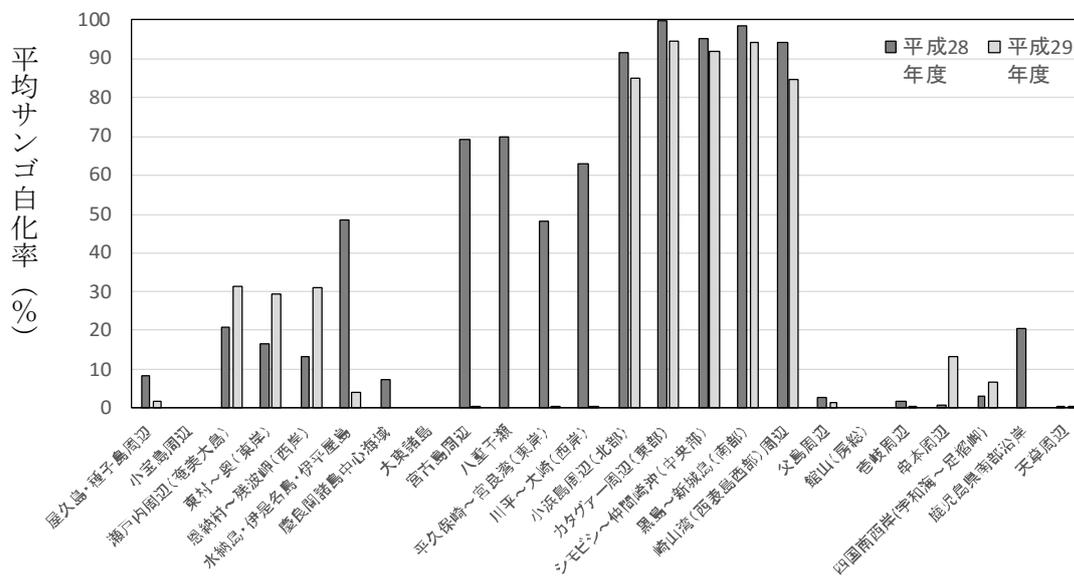


図 1-2 各サイトにおける平均サンゴ白化率

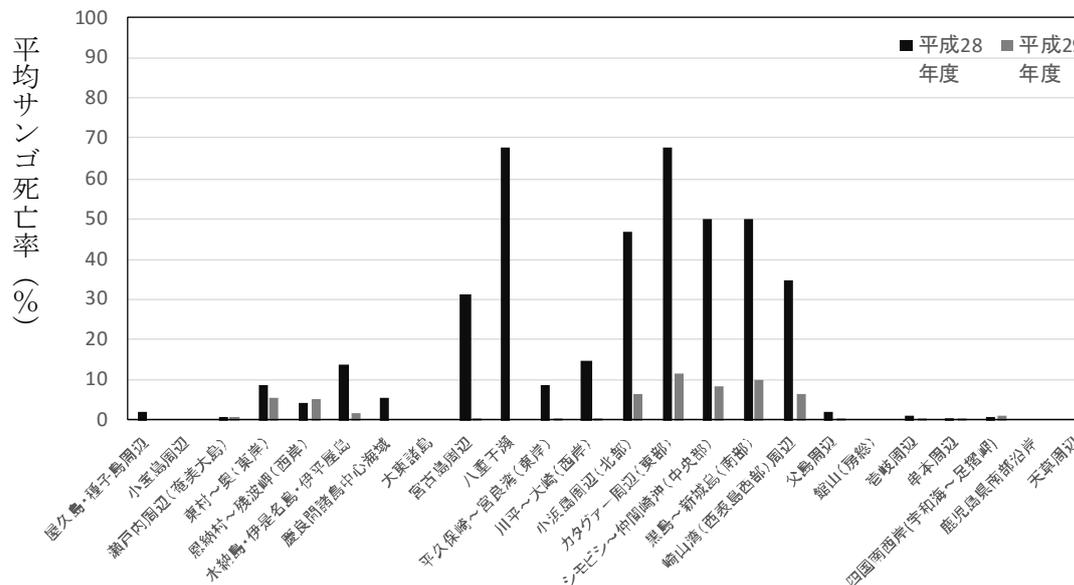
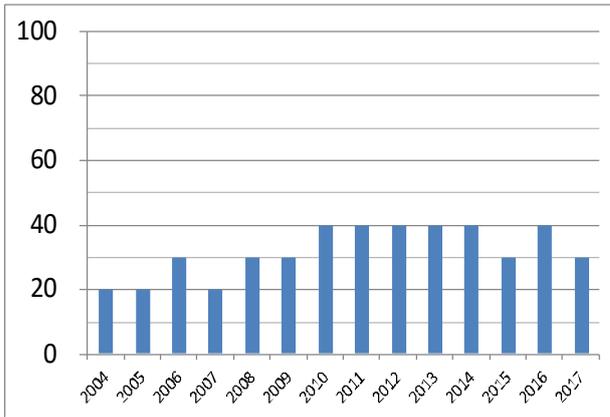


図 1-3 各サイトにおける平均サンゴ死亡率

2. サイト毎の平均サンゴ被度経年変化及び写真

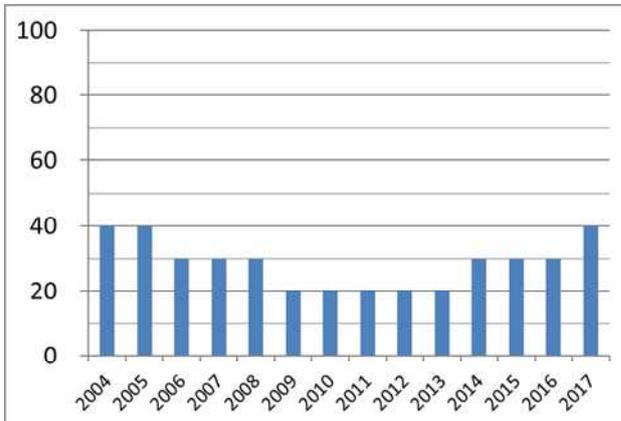
グラフは各サイト又は海域の平均サンゴ被度 (%) の経年変化 (10%区切り) を示し、その値は各調査時のものとなります。

(1) 大隈諸島 (サイト1)



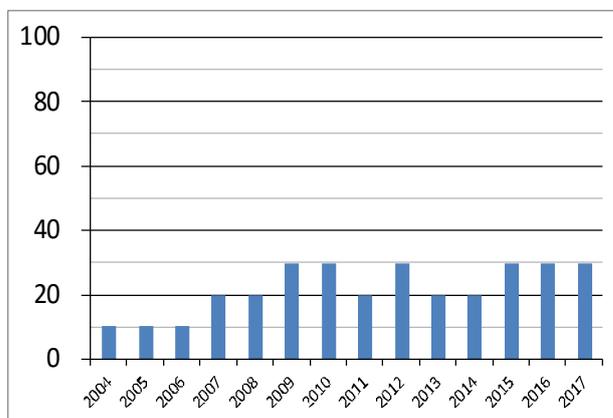
写真：屋久島志戸子の状況 (撮影者：松本 毅)

(2) 奄美群島 (サイト3)



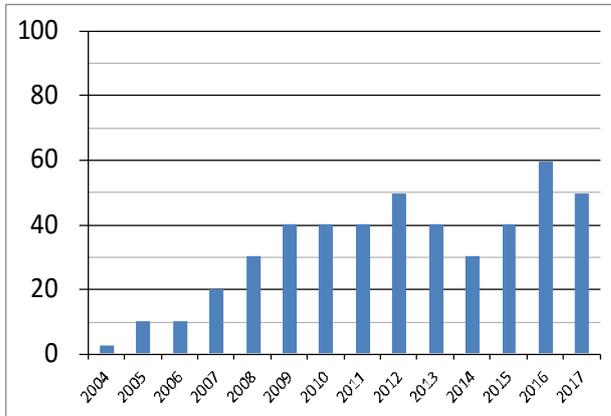
写真：大浜の白化状況 (白化率 80%)
(撮影者：興 克樹)

(3) 沖縄島 (サイト4・5)



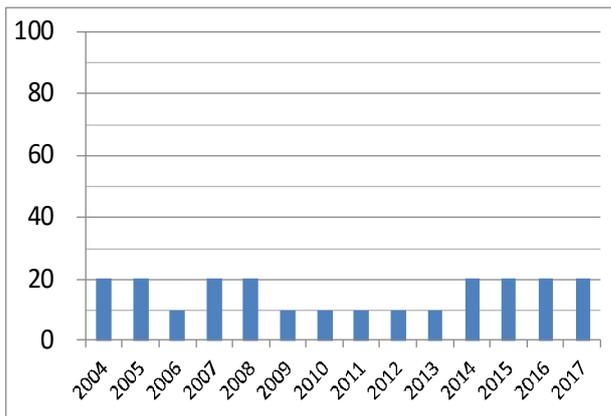
写真：糸満地先の白化状況 (撮影者：沖縄県環境科学センター 長田智史・金井 恵)

(4) 沖縄島周辺離島 (サイト6)



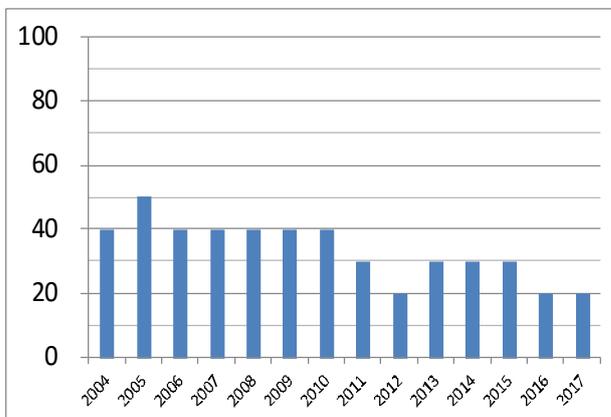
写真：水納島南の状況 (撮影者：沖縄県環境科学センター 長田智史・金井 恵)

(5) 慶良間諸島 (サイト7)



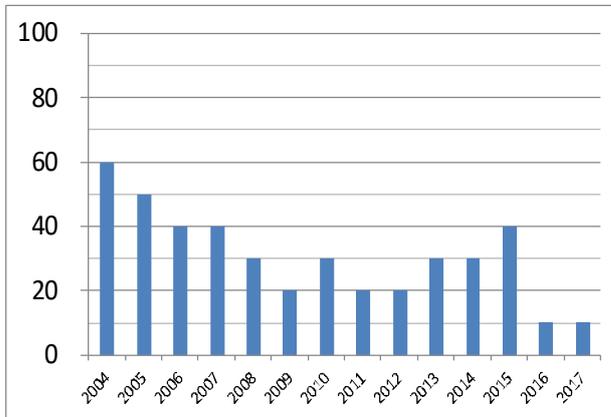
写真：およそ 10 年間かけて回復したサンゴ群集 (阿嘉アグ) (撮影者：豊島正彦)

(6) 宮古島周辺 (サイト9)



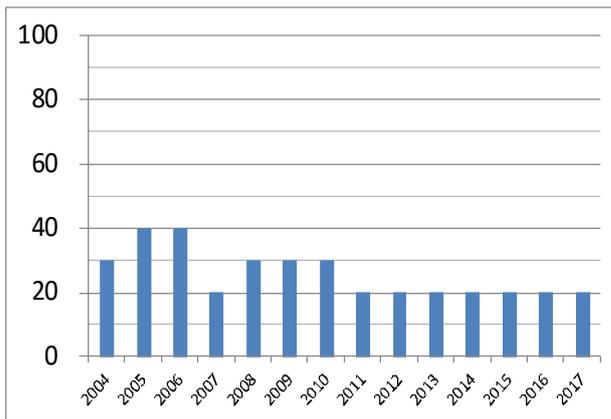
写真：狩俣沖の白化の影響を受けたサンゴ群集 (撮影者：梶原健次)

(7) 宮古島離礁 (サイト 10)



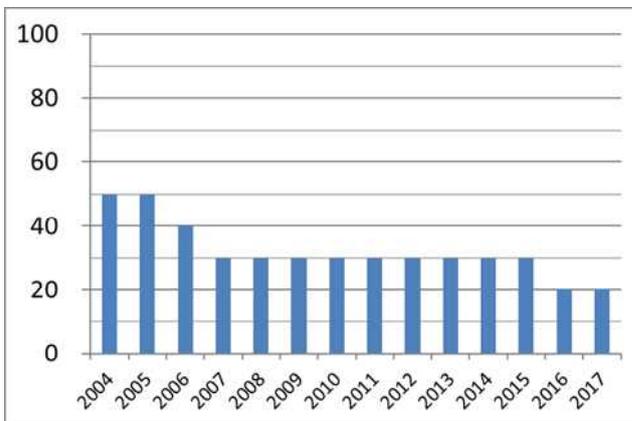
写真：白化・ホワイトシンドロームにより被度が下がったサンゴ群集 (八重干瀬・カナマラ)
(撮影者：梶原健次)

(8) 石垣島 (サイト 11・12)



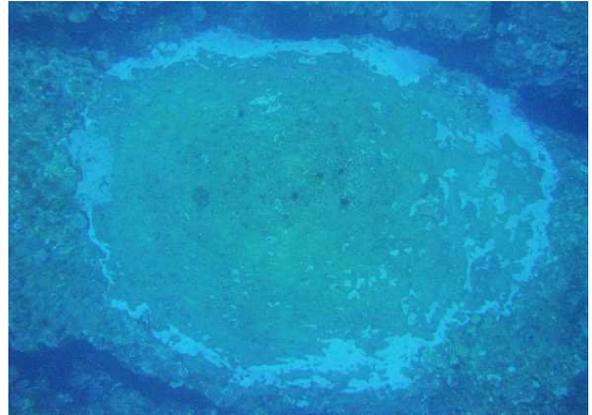
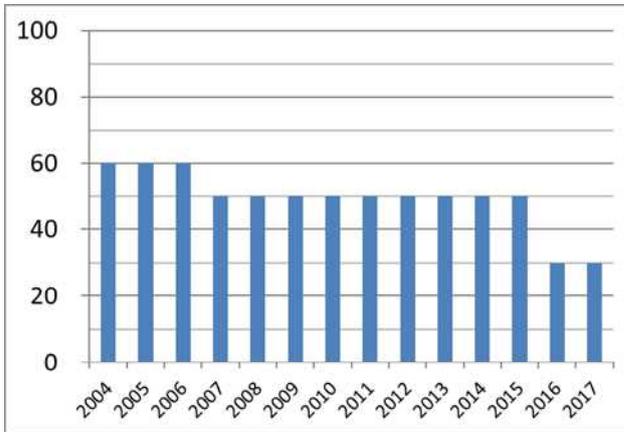
写真：小型のミドリイシ類が非常に多く、回復が進んでいる海域の状況 (伊土名南)
(撮影者：吉田 稔)

(9) 石西礁湖 (サイト 13・14・15・16)



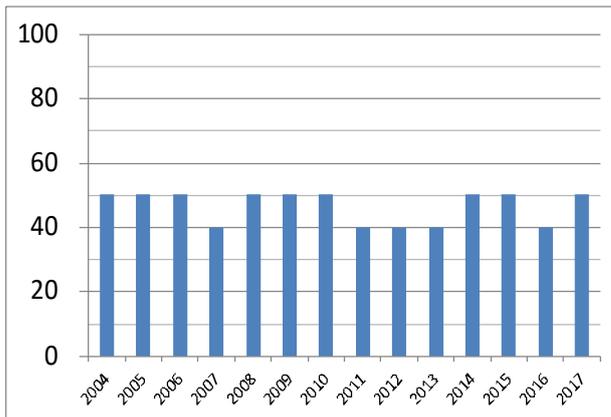
写真：竹富島西沖離礁礁縁の状況
(撮影者：上野光弘)

(10) 西表島と周辺離島 (サイト 17)



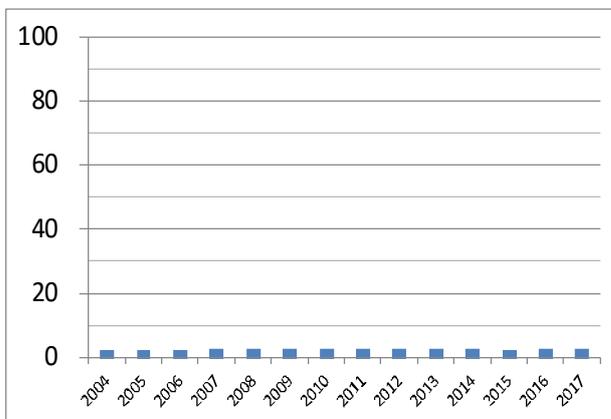
写真：鹿野川湾中ノ瀬のアザミサンゴの大群体
(撮影者：上野光弘)

(11) 小笠原諸島 (サイト 18)



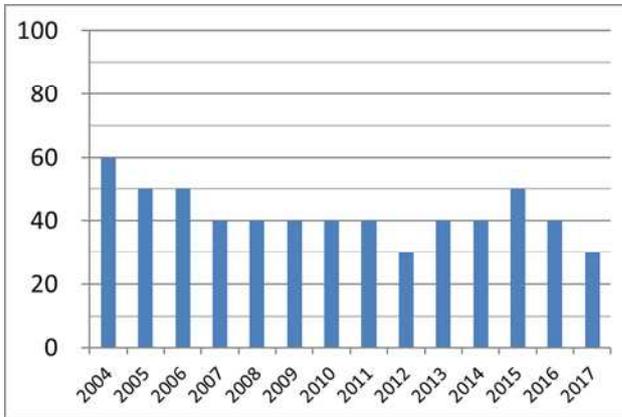
写真：スギノキミドリイシ群落に見られた感染症
(色が抜けて白化している (父島二見湾奥))
(撮影者：佐々木哲朗)

(12) 房総・伊豆・伊豆諸島 (サイト 19)



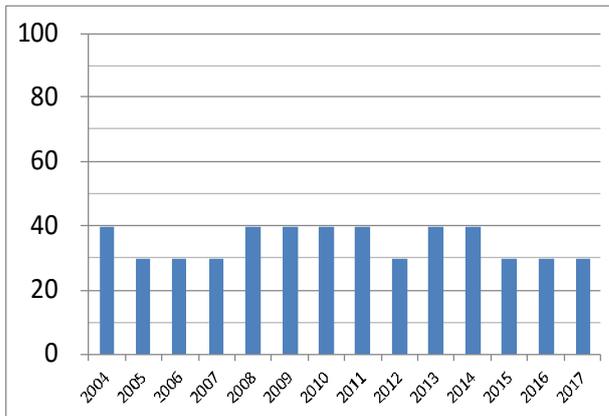
写真：ゴミが絡まったサンゴ群落 (沖ノ島)
(撮影者：清本正人)

(13) 日本海 (サイト 20)



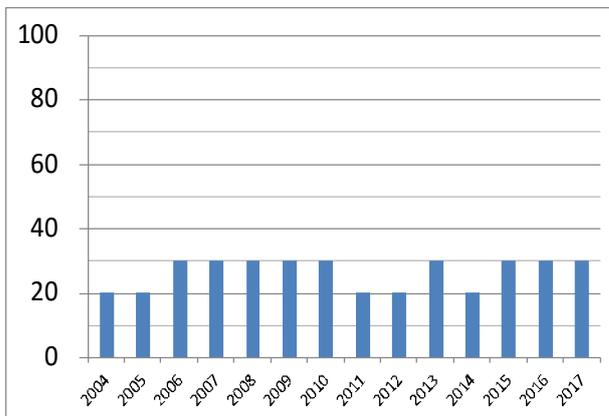
写真：ガンガゼによる食害 (福江島布浦)
(撮影者：下池和幸)

(14) 紀伊半島 (サイト 21)



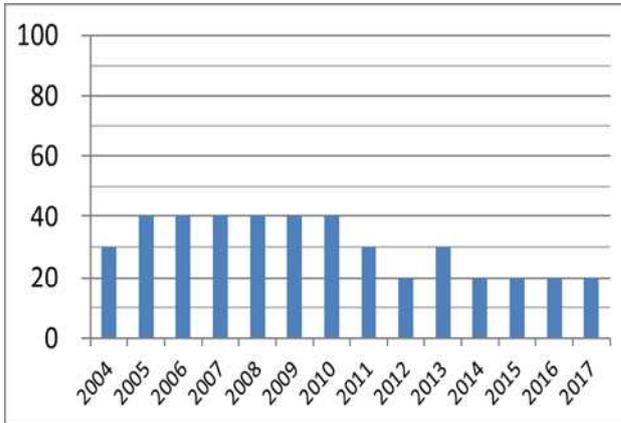
写真：カワラサンゴ群体 (有田湾奥)
(撮影者：平林 勲)

(15) 四国 (サイト 22)



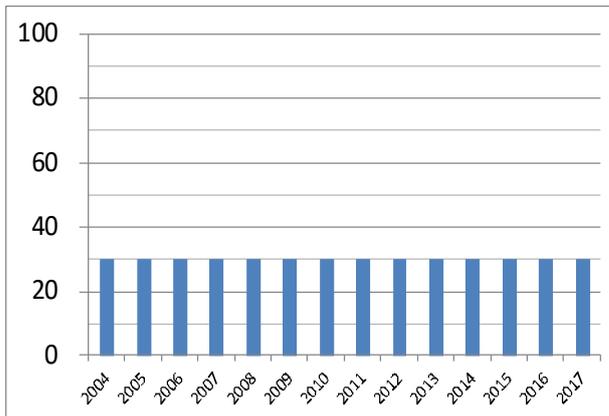
写真：卓状ミドリイシ群集の大規模白化
(大手の浜・灯台下)
(撮影者：目崎拓真)

(16) 九州南東部 (サイト 23)



写真：佐多岬海中公園のサンゴ群集 (被度 70%)
(佐多岬海中公園・岬側)
(撮影者：出羽尚子)

(17) 九州西部 (サイト 24)



写真：典型的な天草の水中景観 (天草牛深の片島)
(撮影者：野島 哲)

モニタリングサイト 1000 サンゴ礁調査における水温データ (2015年～2017年)

(1) サイト 3 : 瀬戸内周辺 (奄美大島)

平成 29 年度 (2017 年度) は、平均白化率 31.5%、死亡率 0.7%を示し、7 月下旬に 30℃を超える水温が見られた。

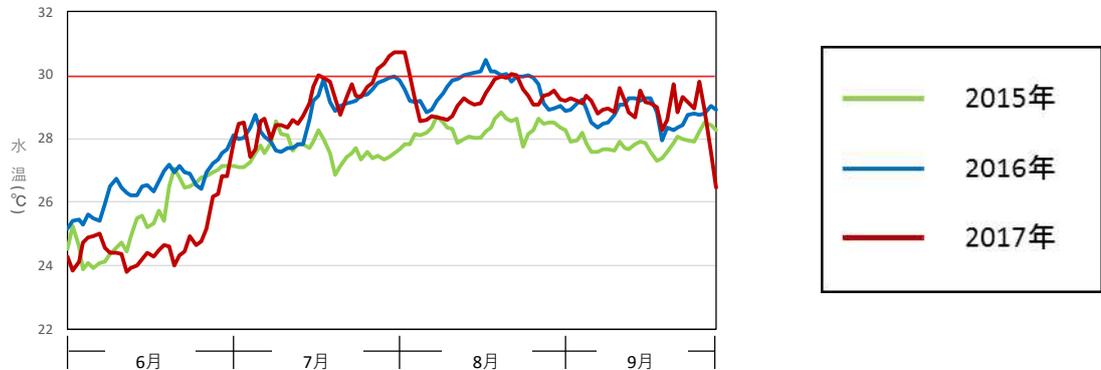


図 2-1 サイト 3 : 瀬戸内周辺 (奄美大島) [地点 11 : 和瀬]

(2) サイト 9 : 宮古島周辺

平成 29 年度 (2017 年度) は、平均白化率 0.5%、死亡率 0.5%を示し、7 月中旬～9 月上旬に 30℃を超える水温が見られた。

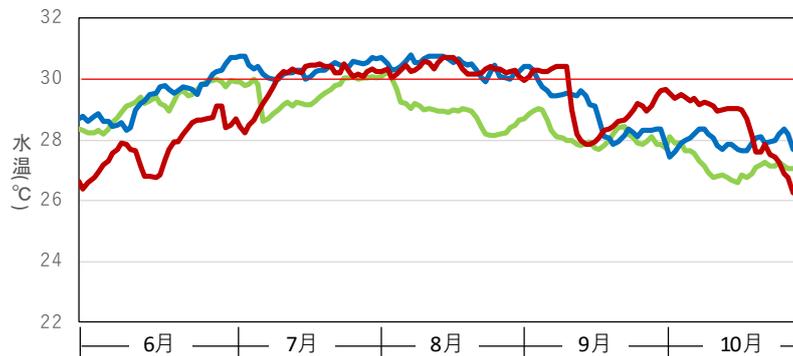


図 2-2 サイト 9 : 宮古島周辺 [地点 5 : 渡口沖]

(3) サイト 14 : カタグァー周辺 (東部) 【石西礁湖】

平成 29 年度 (2017 年度) は、平均白化率 94.6%、死亡率 11.3%を示し、7 月下旬、8 月中旬～9 月中旬、9 月下旬～10 月上旬に 30℃を超える水温が見られた。

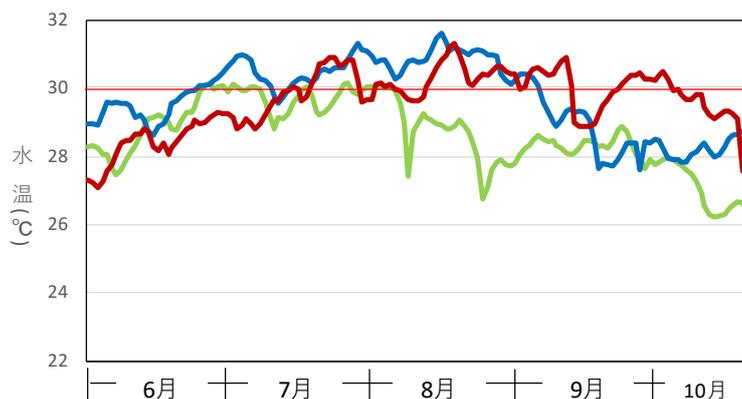


図 2-3 サイト 14 : カタグァー (東部) [地点 77 : ウマノハッピー礁内]